



中国やベトナムをはじめとする世界の情報を発信しています



組合新聞

2014年4月号

発行：国際ビジネス情報協同組合

～4月号掲載内容～

- *日本経済の行方
 - *世界はいま
 - *従軍慰安婦
 - *米 国
 - *中 国
 - *理財商品は
 - *東芝技術流出事件
- *小野田寛郎のお別れ会
- *特別企画・ミャンマーのいま

- | | |
|------------------|------------------|
| └日本とミャンマー | └ミャンマーへは |
| └現在のミャンマー | └ミャンマーは安全? |
| └歴史 | └お金・カード・チップは |
| └国名の変更 | └移動・車 |
| └日本との関係 | └ミャンマー人は中国が嫌い |
| └民主政権誕生か | └中国だけではない |
| └経済発展と制裁 | └親日国ミャンマー |
| └ミャンマーに各国が接近する理由 | └ミャンマー人の性格 |
| └消費市場として | └ミャンマーの名前は!? |
| └豊富な農水産資源 | └ミャンマー語の文法 |
| └企業の進出 | └ミャンマー料理と娯楽 |
| └発展の鍵は何!? | └ロンジーとタナカとは!? |
| └現実の投資は? | └「あのオバサン」て 誰の事!? |
| └進出日本企業 | └投 資 |
| └労働者の質の高さと教育は | |

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先：info@ibia.or.jp

日本経済の行方

4月1日に消費税引き上げになりました。今回の上げ幅は3%、それだけ影響も大きくなると予想されます。

3月末までの駆け込み需要が経済を引っ張っていくとの予想と、4月以降は当然需要が減り経済が落ち込むという考え方があります。では検証してみましょう。

まず、一般的に4月～7月までの3ヶ月間は落ち込むが徐々に上昇すると言われていますが、各証券会社の予想では少なくとも昨年よりは落ち込むだろうと予想されています。

成長の要因は個人消費、民間住宅投資、民間設備投資、純貿易、政府の支出でしょう。確かに3月までは駆け込み需要のせいで上昇しますが、賃金の上昇が一部大企業に限られて個人需要をどこまで起こさせるかが疑問になってきます。民間の住宅や設備投資は4月以降マイナス要件となり、円安で輸入金額が膨らみ純輸出(輸出－輸入)は経済に寄与していません。頼みの綱は政府の公共投資ですが昨年12月に14年度の経済対策を5.5兆円と決め、昨年度の10兆円に比べれば規模が小さくて牽引するか否か、その効果は望めません。

唯一の望みは駆け込み需要を契機に消費マインドがそのまま14年度経済を牽引するかどうかです。

世界はいま

ロシア)

ロシアはクリミア半島に軍事介入、その後住民投票を行いウクライナより独立、その後ロシアに編入される事が予想されます。

クリミア半島はロシア人58%、ウクライナ人24%、クリミアタタール人12%とウクライナの中でも最もロシア人比率の高い地域です。

住民投票はロシア系が圧倒的に多いのでウクライナより分離独立することに賛成し、クリミア自治共和国を分離独立させました。また、ロシア議会は併合すると決定しました。その理由は、ロシア側がクリミア自治共和国セバストポリに拠点を置いている「黒海艦隊」を死守しなければならないからです。黒海艦隊とは米国にとっての太平洋艦隊と同じ様なものです。

西側諸国)

これに対し西側諸国は猛反発、3月24日に日米欧の7カ国(G7)がオランダのハーグで開催されている核安全保障サミットの合間にウクライナ情勢をめぐり緊急会議を開催し、ウクライナ情勢が一段と不安定化した場合には対ロシア制裁を強化する用意があると表明し、ロシアのソチで開催予定だった主要8カ国首脳会談(G8サミット)への出席を見送り、代わりに6月初旬にブリュッセルでG7サミットを開催すると発表しました。

オバマ大統領は、西側がロシア経済にダメージを与える覚悟があっても、たとえ自国の経済が被害を蒙ってもそれを実行すると述べています。

しかし、アメリカとヨーロッパの対ロシア制裁は制限されたものです。この事は言葉とは裏腹に欧米の指導者がプーチン大統領への懲罰に関して、クリミア住民の運命よりも自らの経済的な利害に注目を寄せている事を示しています。そうでなければヨーロッパの地理的な国境を乱して国連の一加盟国の領土を占領する事は、政治家や経済関係者の渡航制限や財産差押え以上の懲罰を伴うはずでしょう。

80年で最大の経済危機の影響に苦しみ、高い失業率や前例のない財政赤字を出している西側諸国にとって欧州への天然ガス供給など、ロシアとの数千億ドルの貿易関係を損なう事は望んでいないからです。

解説)

西側諸国は仕方ないですね、制裁はするが大層な事は出来ません。自国の利益の方が大切でもんね! ロシアからの天然ガス供給を止められると如何する事も出来ないのがドイツはじめ欧州です。その結果、これ以上するなよという事で収まるのではないのでしょうか!?

ロシアはシリアはじめ米国の弱腰を見抜いているのと、ロシアの黒海艦隊の基地を死守せねばと考えているのではないのでしょうかね。

従軍慰安婦

ことの始まりは河野談話だ! 慰安所は当時の「軍当局の要請によって設営された」「慰安所の設置、管理及び慰安婦の移送については旧日本軍が直接、あるいは間接にこれに関与した」「軍の関与の下に多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけた」として軍の意思が働いたとする内容でした。

河野氏は記者会見で「調査の結果、強制連行があったという認識でよろしいのでしょうか?」という問いに「そういう事実があったと、結構です」と明快に答えました。

その後はコチラで→ <http://www.ianfu.net/opinion/sakurai-yoshiko.html>

調査もロクにしないで韓国の言うがままに談話を出したのです。ことの始まりがここからです。

強制連行などありもしない事が一人歩きし既に日韓で終わっているはずの賠償問題が再浮上し、慰安婦像などと日本叩きが始まったのです。言わばペテンに嵌ったと言っても過言ではないです。

その後韓国は「金貨玉条のごとく」これを利用しています。

日本政府の菅官房長官は2月20日の衆院予算委員会で、日本政府が従軍慰安婦問題で「お詫びと反省の気持ち」を表明した1993年の河野洋平官房長官談話に関して、根拠となった韓国人元慰安婦16人の証言内容を検証する政府チームの設置の検討を表明し、河野談話を引き継ぐとしながらも重要な点に言及しました。

安倍総理は3月1日に「(軍の強制連行への直接関与など)強制性を裏付ける証拠がなかったのは事実」と発言し、3月16日には社民党の辻元清美衆議院議員の質問上意書に対して「政府が発見した資料の中には、軍や官憲による所謂強制連行を直接示す記述は見当たらなかった」とする政府答弁を出しました。これに対し韓国側も猛反発しています。

3月24日、菅官房長官は記者会見で萩生田総裁特別補佐官は新事実があれば新たな談話を検討すれば良いとの考えを示した事について「…検証はするが見直しは有り得ない」と明言しました。

解説)

考えてみても分かります。お金欲しさに従軍慰安婦になって、日本国が戦争に負けて韓国に賠償金を払い、韓国政府が解決すると約束したのに後になって強制だ、何だのと難癖をつけ、韓国が謝ればいいというのでバカ政治家のまあまあという日本的な考えですまなかったと河野談話を出し、収まるかと思ったらコレが始まり…。再調査をと言えば韓国が猛反発、当たり前だ!! 再調査されると嘘がバレますから。こんな国と付き合っていますか? 日米韓首脳会談をやって喜んでいる場合じゃないよ!!

3月11日、米グレンデール市の日系人等が慰安婦像撤去訴訟を起こしました。

訴訟費用は6億円が必要と寄付を呼び掛けています。詳しくは <http://gahtjp.org/> で!

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

米国

米国経済が持ち直し確実に良くなっています。オバマ大統領の予算教書が過日発表されましたが、それによると米国の GDP は 3.1%と市場予想の 2.8%と強気ではありますが、いずれにしても順調に推移しそうです。失業率は 6.6%まで低下しています。

金融量的緩和は米国の経済の好調であろうという見込みから FOMC(米連邦公開市場委員会)のイエレン議長は 2014 年秋までに前倒しして量的緩和を終了する意向を示しました。そうすると円やユーロに対して変化があるはずですが市場にはそのような影響が出ていません。これは米国の物価が上昇していない事に起因します。最近数ヶ月、年率でいうと目標が 2%ですが 1.6%と下回っています。ただ、米国の量的緩和の前倒しが新興国に対し影響が出る可能性が大了。

中国

一言で言うと不況を目の前にしてどうなるのか!? 不安がいっぱいというところではないでしょうか。景気後退から元がドルに対して急落しています。

HSBC ホールディングスが発表した中国の製造業購買担当者指数(PMI)の速報値が 48.1 で、1 月 2 日の 48.5 から低下し 8 ヶ月ぶりの低水準となりました。通常は中国の 2 月の春節(旧正月)が終わり、経済活動が再び活発になる 3 月は PMI が回復するのですが、今回は失望を誘う結果でした。

また、「景気減速はまだ終わっていない、低迷は第 2 四半期も続く」「指数が低下したのは国内需要が広範に減少した為だ」との話が一般的です。中国政府は恐らく何らかの支援策を打ち出すのではないかと考えられています。考えられる選択肢としては民間投資に対する規制緩和、地下鉄、大気汚染浄化、公営住宅などでしょう。

中国人民銀行(中央銀行)は経済成長率が一段と減速した場合には、銀行の預金準備率を引き下げる用意があると説明しています。

先週、中国の李克強首相は国内需要の拡大を安定した速度で確実にする為に投資と建設計画を加速させると述べました。

PMI (Purchasing Managers' Index)

購買担当者景気指数の事で、景気の先行きを示す指標のひとつで、製造業の購買担当者に生産意欲などをアンケートして指数化したものです。

製造業の工場がどのような生産計画を立てて、どの位の資材を必要としているかに基づいた指数で、原材料メーカーや金融機関、投資家にとっても景気動向を見極める上で重要な指数です。

理財商品は

中国四大銀行の一つで、中国銀行の前の頭取である李礼輝氏は個人向け高利回りの商品の理財商品について「一部は債務不履行(デフォルト)を容認すべきだ」と述べました。同氏はシャドーバンキングの規模は 20 兆元(約 340 兆円)との推計を明らかにし「一部の商品に問題がある」と認めました。李氏は理財商品について「全体としてリスク管理は可能」と強調し、過度な不安は必要ないとの立場を示しています。

13 日、中国の李克強首相は全国人民代表大会(全人大←国会に相当)の閉幕後に記者会見し、金融市場のデフォルト問題について「個別の状況では避け難いものがある」と指摘しました。

同時に金融機関の連鎖破綻などの金融システムリスクを回避する為の監督強化をする考えだと強調しました。

理財商品という爆弾を抱え、富国強兵に走っているのが現在の中国の姿ではないでしょうか。

東芝技術流出事件

東芝のフラッシュメモリの研究データを不正に持ち出し韓国の大手 SK Hynix に渡した疑いが強まったとして、警視庁は不正競争防止法違反の容疑で元技術者の杉田吉隆容疑者(52)を3月13日に逮捕しました。

男は平成20年頃、東芝の開発拠点である四日市工場で NAND 型のフラッシュメモリの研究データを不正にコピーし、転職先の SK Hynix に渡したとされます。

この裏には SK Hynix の NAND 型フラッシュメモリ技術は2006年頃では明らかにサムスンと東芝に対して遅れをとっていたのは事実です。その技術格差は2009年～2010年に急速に縮まりました。しかし2012年以降は再び技術格差が開いた事実から明確に分かります。起こしたと発表しました。東芝は具体的な請求金額を明らかにしていませんが、損害の規模は1000億円超としています。

それにしても容疑者は東芝に5年在籍していたと言いますが、転職先の韓国では在籍中に「大金を手にしたので残りの人生は遊んで暮らせる」と周囲に風潮していたような…何てバカな!!

開発者の舛岡富士夫氏は、この発明によって投資が得た少なくとも200億円の利益の内、発明者貢献制度を20%として10億円の支払いを求めて訴えを起こしましたが、2006年7月に東芝と8,700万円で和解したといっています。

日本には技術者を大切にしないという反面、セキュリティが疎かになっていないでしょうか!?

日本企業は最新の注意を払わなければなりません。

だって、近くに「パクリ」と「真似し」の国がいるのだから…。

NAND 型フラッシュメモリ)

フラッシュメモリの一種で1987年東芝に在籍していた舛岡富士夫氏が発明。NOR 型フラッシュメモリと比べて回路規模が小さく安価に大量生産できる。また書込みや消去も高速であるがバイト単位の書き換え動作は不得意。利用はPC用メモリ、Flash SSD、デジカメ、携帯音楽プレーヤー、携帯電話の記憶装置などに利用される。

小野田寛郎のお別れ会

終戦を信じずフィリピンルバング島に30年間留まった元陸軍少尉故小野田寛郎さんが1月16日に亡くなり、お別れ会が3月12日靖国神社「啓照館」で開かれました。

その後ブラジルに移住し牧場を経営する傍ら、子供たちに自然の大切さを教える為「小野田自然塾」を運営し各地で講演会を開催しました。

享年91歳でした、ご冥福をお祈りいたします。

小野田寛郎さん写真集販売のお知らせ)

☆日本国最後の日本兵写真集

初めて故郷へ帰った1974年の写真集です

題:「或る1日」

写真家:産木民彦

メール: info@ibia.or.jp

電話: 073-476-3939

【特別企画】 ミャンマーのいま (旧ビルマ)

ミャンマーの送出し機関などを視察しいろいろなことがわかりました。
今「最後のフロンティア」として世界から熱い視線が向けられています。
最後のフロンティア…そう呼ばれるのは人口の割合に国民所得が低い為です。

概略)

国 名：ミャンマー連邦共和国(旧ビルマ)

公用語：ビルマ語

民族：135 民族(ビルマ族 69%、シャン族 8.5%、カレン族 6.2%、その他)
東南アジアで最も人種の多い国である

宗教：仏教

首都：ネピドー

最大都市：ヤンゴン(旧首都 旧ラングーン)

面積：676.578 km²

水面面積：3.06%

人口：50,020,000 人

人口密度：75 人/km²

G D P：29 兆 9766 億チャット≒271 億ドル(世界 106 位)

通貨：チャット(公定レート、公認市場レート、実勢レートの 3 種類が存在)

注) 上記の数字に惑わされるな!! この数字は推測!?!と考えた方がいい。

2014 年実施される新政府の国勢調査を実施する計画がなされている。

日本とミャンマー

ミャンマーの事を読む前に沢山の日本人が先の大戦でこの地に倒れました。18 万人を超える英霊に頭を下げなければならないでしょう。ヤンゴンを訪れた際は是非参拝して頂きたいです。

日本人墓地はヤンゴン郊外にあり市内とは異なり極めて静寂に包まれた所です。2013 年 5 月に安部内閣総理大臣が参拝しましたが、日本の新聞は日本国内閣総理大臣として 36 年ぶりに大東亜戦争の英霊に手を合わせたことについて日本のメディアは殆ど報じられませんでした。我々日本がここまで成長できたのも英霊達のお蔭です。

また、ヤンゴンの日本人墓地を大切に譲って頂いたミャンマーの人達に感謝します。

現在のミャンマー

現在のミャンマー政府は 2015 年に向け必死で頑張っています。この年はアセアン経済統合、ティワラ工業団地完工、総選挙などです。かと言って日本が大々的に企業進出するチャンスというのは非常に問題点も多いでしょうが、業種や方法によって判断が必要ですが面白いかも知れません。

確かにミャンマーは民主化の国であり親日的で、賃金も安く識学率も 90%と高く真面目で安全な国です。ミャンマーに進出している日本企業は昨年 100 社を超えています。その多くは縫製企業です。これは賃金が安いという理由からでしょう。

問題点を挙げると、道路や公共交通機関などのインフラ設備が脆弱で電力の供給不足などで停電が頻発します。更に経済の中心地であるヤンゴンではオフィス賃料が高騰し、場所によっては日本より高くなっています。

歴史

ミャンマーは9世紀中頃にビルマ族が作ったバガン王朝が始まりとされています。

1942年、世界太平洋戦争でイギリスを追い出す為に日本軍とアウン・サン将軍が率いるビルマ軍が共に植民地化していたイギリスを追い出し、日本が同国を占領下におきました。

日本が敗戦に向かう頃、ビルマはイギリスに取って代わっただけで、今度は反対に将軍とイギリスが協力し合い日本軍を敗戦へと繋げました。

1945年にビルマ軍とイギリス軍は日本に勝利したものの、イギリスは独立を認めず再び統治下に入れます。1948年には独立交渉の末に独立を果たし、「建国の父」と崇められたアウン・サン将軍は独立直前に暗殺されました。独立国家となったものの少数民族運動を戦ったネ・ウィン将軍によるクーデターが1962年に勃発し将軍を議長とする軍事・社会主義体制が始まりました。しかし、軍事政権の経済政策は欧米諸国の制裁もあり失敗、1987年には国連から後発開発途上国と認定されています。

その後、国民の不満から民主化運動が高まり建国の父の娘であるアウン・サン・スー・チー女史がイギリスから帰国し、更に民主化運動が大きくなり1990の国民統一選挙では圧勝しました。これにより表面上では軍事政権が終わり民主化政権に舵を取りましたが、なお軍部の権力は十分に排除されていません。

国名の変更

1989年、ビルマからミャンマー連邦共和国に国名を変更しました。これは軍事政権が発足したからです。その理由としてビルマはビルマ族(バーミー)のみを意味し、ミャンマーは国内の全民族を指すと説明しています。ただ、自国のビルマ語表記が独立時からミャンマーであり、英語表記を変えただけです。口語的読み方(ビルマ)から文語的読み方(ミャンマー)で独立時から変わっていないのです。

2006年3月に首都をヤンゴンからネピドーに遷都すると発表しました。ヤンゴンは最大の町ですが軍用地もあったネピドーに遷都した理由は軍事政権維持の為といわれています。ネピドーは片側10車線あるといい、役所から役所に行くのに歩いて行くのは無理で、車で20分は掛るそうです。一方、ヤンゴンのダウンタウンでは昼夜のラッシュアワー時には非常に混み合っています。何と言っても経済の中心地はヤンゴンであり、政治はネピドーなのです。

日本との関係

1954年にラングーン(現ヤンゴン)で平和条約を締結され、この後10年間に2億ドルの戦争賠償を5,000ドルの投資が開始されました。これは軍事政権樹立後も続きましたが、2003年民主化運動とアウン・サン・スー・チー女史の軟禁を受け日本政府は2003年に凍結になりました。

2011年に誕生したセイン政権の民主化運動を評価し、2014年3月22日ミャンマー連邦共和国の首都ネピドーにおいて、ミャンマーに対する下記無償資金協力11件(総額204.7億円)に関する交換公文の署名が行われました。これは農業人材の育成機関強化、病院医療機材整備など持続的な経済成長の為のインフラ整備の支援などです。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先：info@ibia.or.jp

民主政権誕生か

ネ・ウィン将軍のクーデターで誕生した軍事政権も再び軍事クーデターが起こり、2011年まで一党独裁によるタン・シュエ上級大将をトップとする国家平和発展評議会が続きました。

2011年、一党独裁から複数政党に舵を切り立法機関である国会は民族代表院(224名)と国民代表院(440名)の二院制を取り、二院から構成される連邦会議から大統領が選出される事になりました。ところが、各院議員の1/4は国軍司令官より指名される事になっています。

新政権の官僚は軍事議員だけでなく、民間から選出された議員の多くも現役軍人です。更に、軍による影響力は国防評議会であり連邦議会の幹部や軍は代表者11名で構成されており、非常時に軍に政権移譲できると規定されています。これでは表面上民主化されただけで、軍の権力は温存されたままなのです。

経済発展と制裁

1997年から始まった欧米による経済制裁は海外からの直接投資の禁止、ミャンマー製品の輸入禁止、軍事政権幹部の資産凍結などですが、非常に経済に停滞をもたらしました。

1990年、当時のミャンマーは1人あたりのGDPがベトナムと同等だったのが現在はその半分となっていることからでも推測出来ます。現在は日系企業をはじめとする多くの企業が押し寄せ、視察に訪れる企業が多くホテルも高くなり、予約もままならない状況となっています。

この欧米諸国の経済制裁をとったのと背反して、中国やアセアン諸国は軍事政権を批判せず、特に中国は世界から孤立する中で外交面でも強くサポートしました。このような状況でミャンマーは中国に頼らざるを得なくなり、一方中国は豊富な資源があり地理的に昆明からインド洋を繋ぐ重要な拠点であり、パイプラインなどミャンマー資源の供給ルートを作るインフラ等を確保したのです。また、軍事的にも大きな意味があり、中国のインドを取り巻く「真珠の首飾り」作戦の一角にない戦略を遂行し、中国海軍のインド洋への進出口として確保したのです。

2011年になり中国と共同建設中の開発計画の中止を表明しました。これは中国側では電力の半分を購入予定であった中国は、この他の6個のダム計画も中止に追い込まれるという厳しい状況になっています。

1997年以降、ミャンマーの民主化運動に圧力を掛けるため投資や輸出入の禁止、軍事政権の資産凍結、ドル送金の禁止などの経済封鎖(制裁)を科した。これに反発する軍事政権は中国・タイにシフトしました。

2011年3月になりセイン政権が発足し、態度を一変して民主化政策を打ち出しました。これはアウン・サン・スー・チー女史の解放、政治犯の釈放、少数民族の武装勢力への停戦、対話姿勢に着手しました。この裏には欧米に対し民主化をPRし経済制裁の緩和・解除を引き出したいとの思惑があったのです。しかしこれが本物であるかという疑い、北朝鮮との軍事関係もあり中々慎重な姿勢を崩しませんでした。これにたまたま、これでもかと新政府はイラワジ川での中国と共同建設していた水力発電の中止を発表し経済制裁を解くようにしました。もちろん中国の反発は織り込み済みでした。

ミャンマーに各国が接近する理由(魅力は!?)

各国がミャンマーに魅力を感じている理由の一つは地理的な理由があります。所謂「シーレーン」がそれです。シーレーンとは一国の通商上、戦略上の重要な価値を有し、有事に際し確保しなければならない海上交通路の事です。地図を見れば一目瞭然ですが、ミャンマーは石油をはじめ物流ルートの要所なのです。

中国は)

中国は西側諸国の経済制裁を科したとき、ミャンマーを取り込んだ理由はこの事に起因しますが、その重要性は幾つかの側面があり一つは米国・日本へのエネルギーの供給路なるシーレーンを押える、二つ目は東の南シナ海と西のインド洋からアセアン諸国を包囲できる側面があります。三つ目は自国のエネルギー(電気・パイプライン)の供給です。中国はこれを先に述べた「真珠の首飾り」と呼んでいます。

日本は)

メコン・インド・産業大動脈構想を主導する日本は、メコン地域に留まらずインド洋まで物流網を広げる計画です。これが出来れば東南アジアの製造拠点のタイを経由してベトナムホーチミンから一気にインド南東部のベンガル湾に面するタミルナド州の多くの日経企業の進出地であるチェンナイ港まで繋がります。

消費市場として

GDP は米ドルで 2012 年推定値 540 万ドル、1 人当たりの GDP は 834 ドル余りと言われていますが(実は本当は分からない、IMF 推計値)、年の成長率は安定して伸びています。(年 5% IMF 推計値)ハッキリ言えるのは人口の 90%以上が生産人口であり将来を買われています。

豊富な農水産資源

気候は 1 年中温暖で雨量が豊富で農業(米は三毛作)が主要な産業となっています。もちろん食料自給率は 100%を超え GDP に占める割合は約 50%で、農産物の輸出額は輸出総額の 15%(約 11 億米ドル)で同国の経済基盤です。

主要な農産物は米、豆、ゴマで、水産物では魚類、エビでタイやインド、中国が主な輸出先です。豊富な水産物は外資系食品加工、製造業の進出を盛んにしています。

鉱物資源では石油、天然ガス、スズ、タングステン、宝石などの天然資源も豊富で、特に天然ガスはアセアン諸国ではインドネシア、マレーシアに次ぐ第三位の埋蔵量で、これらは天然ガスの輸出総額の約 36%を占めています。この天然ガスはアンダマン海底からタイにパイプラインで繋がっています。中国はこのガスに目を付け 2004 年ガス採掘に成功し利権を獲得したのです。

企業の進出

日本をはじめ世界の企業は中国を生産拠点にしてきましたが、人件費の高騰、政治体制などの問題からチャイナプラスワンとしてベトナムやタイに進出して来ました。しかし両国の経済成長などから「タイ・ベトナムプラスワン」としてミャンマーに魅力が集まっています。その理由として労賃が 25 前後ドル、技術職 100 ドル前後、企業管理職 250 ドル前後であり、ベトナムの 1/3 と考えてよいのです。しかも教育程度が非常に高く識字率が 90%を超えています。また仏教国のため真面目なのです。特に日本人にとっては極めて親日的で、真面目で教育程度が高く上座仏教の国と大乘仏教の違いが有りますが、同じ仏教国なので親近感を覚え企業進出するにはインフラを除外すると適切な国だと判断します。

2015 年アセアン経済共同体(AFC)が発足することになっていますが、発足するとアセアン諸国で工業化の中で遅れているミャンマーは早急に工業化しなければならず、外国企業の誘致に必死になっている意味がよく分かります。

参考) 上座仏教

釈迦の没後、約 500 年を経て仏教的な考えにより大乘仏教と上座仏教に分かれました。また教えの学び方により密教と顕教に分かれました。

上座仏教とは聞きなれない名称かも知れませんが、これを小乗仏教と言えば分ると思います。「乗」とは教えを乗り物のたとえで小さな乗り物に乗るという事から差別用語として小乗仏教と称したのですが、最近では上座仏教と言われています。

この上座仏教はミャンマー(ビルマ)、スリランカ、カンボジア、ラオスなどで信仰されています。

発展の鍵は何!?

インフラを整えることが死活問題ですが、インフラとは電力、水道、交通(鉄道・道路)、港湾、空港などのありとあらゆる社会基盤の事です。

電力)

電力も大きく改善されましたが、現在水力発電所と天然ガス発電所、石炭発電所が合わせて 31 箇所あり、これで国内総需要の 667 メガワット以上の 1555 メガワットを賄えるとしていますが、現実には私が滞在した 2014 年 3 月にホテルで 1 日 3 回の停電がありました。聞くところによると、3 月から 5 月までは乾季で水力発電所の発電量が低下した為で、タイ・中国政府の協力で発電所計画を推し進めています。

水道)

福岡市が水道技術の支援を決め老朽化した上下水道の整備を進めています。面白いのは町中に水を貯めた素焼きの壺を置いており尋ねてみると、通行人が飲む為の水で奉仕の為に置いており現世に功德を積むのだそうです。素焼きの壺に入れているのは熱い気温でも蒸発熱を利用し冷たい水のままだそうですが…衛生上は分かりません。

インターネット)

町中にネットカフェがあり私が泊まったホテルでは全く問題なく利用出来ました。

道路)

私は前の首都ヤンゴンしか知りませんが交通事情はまだまだだと思えます。

道路は大きい所は舗装されていますが、コンクリートの場合が多くガタガタです。もちろんアスファルトもありますが出来が良くないことに間違いありません。ヤンゴンに行く前は日本の中古のバスが(日本で走っていた時の車体の広告・行先)そのまま走っていると本で見えていましたが、塗装しなおされて綺麗になって走っていました。乗用車ではポンコツもありましたが日本と同等くらいのもので多く走っていました。

特筆すべきはバスが個人営業で、同じ方向でも 2 台 3 台と集まり乗客の取り合いをしています。乗務員は 3 人で運転手、呼び込み、切符売りで歩合制になっています。また、バスを買うお金がない人はトラックの荷台に多くの人を乗せて走っていますが、この 3 月末でバスとして営業出来なくなりました。

鉄道・航空)

鉄道はミャンマー鉄道公社が運営しており、ヤンゴンからマンダレーまで 15 時間以上掛かるそうです。

2011 年に中国との間で「直通高速鉄道建設に関する覚書」が取り交わされ、国境を越えた鉄道計画が中国の主体で始まっているとの事です。

港湾)

ミャンマー政府とタイ政府にとって物流ルート完成は悲願とされており、計画遂行のための梃入れが始まっています。これには日本政府も梃入れし「東京戦略 2012」の実現の為の日メコン行動計画の中で日本政府はダウエイ・プロジェクトへの協力可能性調査に乗り出す事に合意しました。

道路)

ミャンマーの舗装率は 20%程度で高速道路でも凸凹が激しく、舗装道路であっても殆どがコンクリートです。これはアスファルト生成の技術や道路舗装技術がないのでしょうか。

アパート)

外国人の賃貸契約期間は 1 年間、1 年分の全額前払い契約が基本です。

外国人向け 1 ルームの家賃は数年前に 500 ドルだったのが、2013 年に 4 倍の 2,000 ドル位に高騰しています。ヤンゴンのインヤーク周辺の高級住宅地の中にあるコンドミニアムの家賃は 2,000~4,000 ドルです。

オフィスビル)

民主化が進んだ事で外国企業の進出や引き合いが急激に増加しています。こうしたミャンマーブームによって住居・オフィスビルの需要が増加し急激に賃貸物件の価格がうなぎ上りに高騰しています。例を挙げると、日経企業が保有するサクラタワーというオフィスビルがあり、このビルには日経企業の多くが入っていますが賃料は平米 70 ドル~80 ドルとされています。一時は 100 ドルを超えたと言うのですが、これでは東京の高級ビルと同じではないですか!!

注意すべきはミャンマーのビルオーナーは頻繁に価格改定を求めてくるそうです。

ホテル)

ソコソコの日本人が泊まれるホテルにはまず満室かどうか、値段は日本円で 2 万円以下のホテルはやめた方が良い位高いです。

不動産の所有など)

国内の土地は全て国家の所有となる為、外国人及び外国企業の土地所有はできませんが 10~30 年のリースと 50 年まで延長更新が認められています。

不動産取引に関する新しい税率が 3 月 20 日に発表になりました。

- ① 5 千万~3 億チャットの取引金額物件：取得税 25%。印紙代 7% (計 32%)
- ② 5 億~15 億チャットの取引金額物件：取得税 10%。印紙代 7% (計 17%)
- ③ 5 千万チャット以下の取引金額物件：取得税 10%。印紙代 7% (計 17%)
- ④ 3 億チャットオーバーの取引金額物件：取得税 30%。印紙代 7% (計 37%)

現実の投資は!?

日本は中国、香港、韓国に遅れを取っています。ミャンマーの投資額を比べてみるとタイ、中国、香港、韓国がトップ 4 です。

タイ)

地続きであるタイはミャンマーを支えてきた重要なパートナーです。アンダマン海域の天然ガスの輸出先でもあり 2011 年の輸出総額の 33%余りがタイ向けです。また、タイ政府はインド方面への物流拠点で注目されるダウエイとバンコックを結ぶ道路整備計画への協力もしており、これを一手に引き受けたのがイタリアン・タイ・ディベロップメント社で、75 年間の深海港及び周辺開発の認可をミャンマー政府から得ています。

タイからミャンマーへの観光客は年間 10 万人以上で、反対にタイに出稼ぎに行っている人は 100 万人以上とされています。

香港)

ミャンマーで採れるヒスイなど宝石類の開発と投資を行っています。

韓国)

韓国はメディアに深く入り込み所謂「韓流」を起こさせ、人々は韓国ドラマで見た生活スタイルに憧れさせてサムソンやLGの製品を買うように仕向けています。

進出日本企業

ヤンゴンの日本人商工会議所会員数は昨年6月になって105社になりました。100社を超えたのは発足以来17年目だそうで、主に縫製業です。

労働者の質の高さと教育は

ミャンマーは労働力が安いとだけ考えがちですが、質の高さも注目すべき点の一つです。

開発途上国は通常賃金が安いですが教育程度は低く識学率も低いと考えがちです。ところが、ミャンマーは90%以上の識学率で、かつての日本の寺子屋のように僧侶達が読み書きとそろばんを無償で教える伝統が今なお続いているのです。

現在の教育制度は小学校5年、中学校4年、高等学校3年、大学3年～6年となっていますが、いわゆる義務教育制度は導入されていません。

中学進学率は約50%、高校進学率は65%程度で、大学へは高騰学校卒業試験の点数で進学出来る学校と学部が決まります。

また、留学先として人気があるのはシンガポール、マレーシア、オーストラリアで、ミャンマー人は男女どちらが優秀かといくとミャンマーでは女性が圧倒的に優秀で社会へ出て活躍している人達を見てもわかります。中には90%以上が女性という会社もあるそうです。

ミャンマーへは

ビザの取得)

大使館に郵送する場合ビザ発給まで通常3週間掛ります。

- ・観光ビザ：滞在可能期間最長28日間 申請料金¥3,000
- ・商用ビザ：シングル申請料金¥4,500 6ヶ月数次¥12,000 12ヶ月数次¥24,000
- ・入国ビザ：滞在可能期間最長4週間 申請料金¥45,000

西日本ビザセンター受付の場合(ビザ代込)

- ・観光ビザ：通常申請¥4,500 約3週間
特急申請¥9,500 約2週間
緊急申請¥13,000 8営業日
- ・ビジネスビザ：通常申請¥6,500 約2週間
特急申請¥10,500 8営業日
緊急申請¥15,000 6営業日

※その他郵送費が必要

航路)

関空→ベトナムハノイまたはホーチミン経由→ヤンゴン

関空→タイバンコク→ヤンゴン

※関空からは現在直行便がなく、その他韓国経由と中国経由便がある。

ミャンマーは安全!?

ミャンマーに1人で行くと言ったら「危ない国だから1人は危険だ」と皆さんは仰いました。いざ行ってみると今までに行った中国、韓国、フィリッピン、タイ、ベトナム、カンボジアなど、どの国よりも治安が良いと感じました。現地在住の日本人に聞いてみると女性の夜の一人歩きも大丈夫、「私が夜の12時にアパートに帰っても大丈夫です」という答えが返ってきました。なるほど!ここは敬虔な仏教国、その上外国人への犯罪は自国民への犯罪より厳しい刑罰があるという事で外国人にとって安全な国なのです。とは言ってもスリや詐欺事件もありますから、何処にでも悪い人はいるものです。

また、国境付近では少数民族と国軍との対立が続き外国人の立ち入り禁止区域も存在します。

お金・カード・チップは!?

ミャンマーへ行く前はドルに交換していく方が有利と本に書いてあったので私もドルに交換して行きました。現地で交換できるのが銀行や両替屋ですが、高い所と安い所がありました。現地でお世話になった ASIA PLAZA で聞くと、次回からは日本円を交換したら良いのでは? 円をドルに、それからチャットに換えると手数料が2回掛りますよと言われました。本は一昔前に事を書いている場合が多いのかも知れませんね。

ヤンゴンでは ASIA PLAZA に行けば日本円でも大丈夫です。但し、ドルの場合は新札を持っていった方が良かったと…それは古い札は交換してくれない場合があるからです。

カードの利用は一部の旅行会社、ホテルのみと考えた方が良いかと思います。トラベラーズチェック、ATMでのキャッシングは利用出来ません。

また、チップは習慣としてありませんがベッドメイキングの際に1ドルでは如何でしょうか。

移動・車

ミャンマーの移動手段はタクシーですが、これには困りました。私が見た本ではメータータクシーが増えてきていると書いてありましたが、1週間滞在ではメータータクシーは見つけることが出来ませんでした。聞いてみると一時期増えたのですが最近はなくなってきたそうです。それではどうすれば良いのでしょうか? まずホテルでボーイに行先を伝えて交渉してもらうのですが、外国人となると地元の人より高く取られる事は覚悟しなければなりません。

路線バスもあり車掌が行く先を大声で張り上げていますが、外国人には難題です。

また、長距離の移動には国内20ヶ所くらいの空港があるそうです。

ミャンマーに入って驚かされる車の多さ、最もここはヤンゴンですが車の殆ど全部が日本車でトヨタ・日産・ホンダ・マツダ・スズキで間違いなく95%を超えています。レクサスに乗っている人もいますが平均的な月収は9,000円だという…その理由は格差なのです。

本によると殆どがポンコツ寸前の車だと書いてあったり、路線バスは行く先案内の看板は変えておらず、バスの広告も日本で使っていた当時のままだなんて書いていましたが、そんなバスはどこにもありませんでした。因みに乗用車ボロボロなんかじゃありませんでした。

ただビックリしたのは、この国の交通ルールは右側通行で日本とは反対です。しかし車は日本の中古車ですから右ハンドルのままでした。

通勤に貨物車の荷台に乗っている人達がいたので聞いてみると、お金が無くて路線バスに乗れない人は貨物の荷台に乗るそうです。因みにヤンゴン市内ではバイクの乗り入れが禁止されています。バイクと言えど中国製は500ドル、日本製は2,500ドル、国民所得が低いこの国では5倍もの差があるとどうしても中国製になってしまいますが3年くらいで壊れてしまうのです。日本製は10年~20年は持つので欲しいと思って注文しても4ヶ月は掛ります。それほど日本製の車の人気があ

るのです。中国からのバイクはかつての中国昆明を通る「援蒋ルート」を通過して北東から南東へと運ばれてくるものです。

ミャンマー人は中国が嫌い

ミャンマー人は基本的に中国人が嫌いです。中国と国境を接しているインド、ロシア、モンゴル、ベトナム、カザフスタン、その他国の中で果たして中国を好きな国はあるでしょうか?! 仲が良いと言われている北朝鮮でさえ中国と張元大将で実質的 N02 でしたが、中国との関係まで断絶して処刑したのではないですか、仲が良いとすればパキスタンくらいしか思いつきません。

その理由は何でしょうか!?

例をあげれば、中国との共同プロジェクトのダム建設で「生産される電力の 80%以上を中国に送電する」といった不平等な契約を科してくる、この契約は軍上層部(政権)に賄賂攻勢をかけたものだと言います。ダム建設には中国人労働者が殆どで大人しいミャンマー人も怒るのは無理もありません。

カチン州のミッソンダム建設では、2011 年中国側に民主化 (!?) 大統領ティン・セインは「国民の意思に反する」と中国側に建設の中止を命じました。それでも諦めない中国は大統領の任期が切れる 2015 年以降を目指して裏工作(賄賂攻勢)を強めているといます。こんな歌までありますよ!

「この都市に住み着いたのは誰だ? / 北の国から辿りついた / 隣人僕は恥ずかしさの余り耳を塞ぐしかない / 異邦人にめちゃくちゃにされてしまったのだ / 愛するマンダレーは死んだ」

これを歌うのがミャンマー歌手のリンリン、中国移民に乗っ取られたマンダレーを嘆く歌です。

どこに行ってもこの歌をリクエストされると言いますが、この歌にはミャンマー人の心が表れているのではないのでしょうか。

中国だけではない

この国も中国と同じだよ…それは!?

助け合いです。その助け合いとはなんですか!? 賄賂です、賄賂!! 助け合いと賄賂は違うでしょ?

この国では諸許可を出す官僚からあからさまに助け合いを要求されるような…。

ある外国人が高官に何かを依頼したら高官が「私は権限を使って便宜を図る、あなたは私の願いを聞いてくれ」と言ってゴルフセットを要求されたような。時によっては車であったり現金であったりするそうです。

この助け合い、余りに明け透けとして罪の意識が全くないと言います。ミャンマーでは新政権になって少しは変わってきたそうですが、ここではコレが普通なのです。よくよく考えてみると政府の権力が極端に大きく、殆どの業種は「許認可」が必要です。これに法整備も十分とは言い難く「人」による「人治国家」なのです。軍の官僚と大衆の間で格差が開くのも当たり前なのです。

親日国ミャンマー

ミャンマーは大変な親日国です。これは旧日本軍が独立を応援したこと、1964 年の平和条約以降 1865 億円という多額の賠償金や援助などの理由がありますが、何よりも欧米の経済制裁以降も「緊急性が高く、人道的な案件」には地道に援助を行ってきました。たとえば村落への給水設備の供与などです。2010 年の対ミャンマー経済協力実績を見てみると、46.83 百万ドルと各国のうち一番であり、道路、学校などの援助を行っています。しかし先行した経済制裁を利用した中国、メディア戦略で勝利している韓国に遅れていることは確かです。

ミャンマー人の性格

良い面)

礼儀正しい、親切、恥ずかしがりや、我慢強い、ハッキリ断らない、真面目

悪い面)

時間にルーズ…ミャンマー時間

仏教徒の側面から)

ミャンマー人の90%が仏教徒であり、これを守る事を自らに課している。輪廻転生という考え方を持つ故に現在は前世と来世の間にあり、今良い行いをすれば来世は更に良くなる。この為寄進、喜捨を行い仏教の禁忌である五戒を守る必要があると考えられています。

五戒)

- ・不殺生戒 (ふせっしょうかい) - 生き物を殺してはいけない
- ・不偷盗戒 (ふちゅうとうかい) - 他人のものを盗んではいけない
- ・不邪淫戒 (ふじゃいんかい) - 不道德な性行為を行ってはならない
これは特に強姦や不倫を指すが、他にも性行為に溺れるなどの行為も含む
- ・不妄語戒 (ふもうごかい) - 嘘をついてはいけない
- ・不飲酒戒 (ふおんじゅかい) - 酒を飲んではいけない

聞いたところによると、絶対的尊敬すべき人は僧侶、先生、両親だそうです。

ミャンマーの50代の方が嘆いていました。今の若者は戒律を守らないと…。

こんな事に気を付ける)

足で物を指すのは無礼である。

バゴダに入る時は膝下まで服が有るものを着て下さい。ショートパンツ、ミニスカート厳禁。

座る時は足を伸ばさず決して仏陀の方に向けてはなりません。

頭は体の中で最も尊敬する場所なので決して他人の頭に触ってはなりません。頭を触った場合は挑発を意味します。

ミャンマーの名前は?

私たち日本人は姓と名、キリスト教の国ではミドルネームまでありますがミャンマーはどうでしょうか!? ミャンマーには姓名と割り切られたものはありません。また、通常名前の基本として最初に曜日を持ってきます。

月曜生まれの人は下図にあるように「アウン」「エー」「ウー」です。名前の頭に「ソー」があると火曜生まれの人なのです。後は好きなように名前を付けます。

曜日	頭文字となるビルマ文字	名前の具体例
日曜	主にア行の字母	「アウン」「エー」「ウー」
月曜	カ行やガ行などの字母	「チョー」「キン」「カイン」
火曜	サ行、ザ行、ニヤ行などの字母	「ソー」「ニィ」「ゼー」
水曜の午前	ラ行、ワ行、ハ行などの字母	「リン」「ルイン」「ウイン」
水曜の午後	ヤ行やタ行の字母	「ヤン」「イエー」
木曜	パ行、バ行、マ行などの字母	「ポー」「メー」「ピョー」
金曜	ハ行やタ行などの字母	「ヘイン」「トゥー」「テー」
土曜	タ行、ダ行、ナ行などの字母	「ナイン」「ティン」「ドウェー」

ミャンマー語の文法

ミャンマーでは日本語が上手な人が多いのにビックリしました。尋ねてみると次の事がわかりました。まずミャンマー語を日本のカタカナで表してみましょう。

私は	ご飯を	食べます
チェンノー	タミーン	サーディー
主語	目的語	述語

そうです、文法は日本語とほぼ同じなのです。これでミャンマー人が日本語を上手に話す人が多いも、会話の上達が早いのも納得が이었습니다。2年も勉強すればビジネスにおける電話応対可能な日本語N2の試験も通ると言います。

ミャンマー料理と娯楽

主食は米、これに豚肉、牛肉、エビなどを加えたカレーと想像してください。これが最もポピュラーな食事です。他にモヒンガーと呼ばれる麺料理、揚げパン、ドーナツなどがありますが比較的油が多く私にはあまり向きませんでした。

お酒はミャンマービールが一番です。

現地人の娯楽と言えば映画です。ここではインド、欧米、日本映画が上映されています。

駐在員の娯楽はゴルフが多く、ヤンゴン近くに10ヶ所あると聞きました。私も行ったヤンゴンゴルフは古いのですが、グリーンも綺麗でキャディは当然1人に1名以上(日傘持ち、クラブ運び、フォアキャディ)で楽しく出来ます。料金は30ドルでしたが少しのチップをキャディに渡す事が必要です。

ロンジーとタナカとは!?

これは伝統的衣装で筒状の一枚布を腰に巻きつけるスカートで、男女共着用します。会社員、学生などありとあらゆる人がワイシャツのロンジーにサンダル履きといったスタイルが一般です。

ここで空港を降りた時から女性の顔に注目してください。顔に何かを塗り頬の辺りが真っ白ですが…コレは何!?! これはタナカという木を粉にして粗い石で擦り顔・首・腕に塗るのです。いわば自然の日焼け止めなのです。これは木の質によって肌色から黄色まであり、質の良いものは黄色とされています。顔に塗り暫くするとパリパリに乾き、触るとベビーパウダーのようです。

さてその効果は!?!

- ① 日焼け止め
- ② 皮膚病を治す
- ③ 香が良い
- ④ 毛穴を引き締めて吹き出物を防ぐ
- ⑤ 体の熱を取る

とういうものです。

また、功德式など伝統的な儀式にはタナカ薪をお釈迦様に供えるのですが、この伝統的な祭りが例年2月(タバウン月)に行われます。最近の傾向として若者達はジーンズ、ミニスカートを履く傾向があります。これはネット、テレビドラマなどの影響で、特に韓流スターの影響のようです。

あの「おばさん」て 誰の事!?

世界中、日本国内でミャンマーと言う国を知らなくても、アウン・サン・スー・チーと言えは誰もが知っています。もちろんミャンマー国内でも絶大な人気です。

この国の建国の父であったアウン・サン將軍の愛娘であり、軍事政権の圧力にも負けず国内外に強烈なメッセージを発信する姿に多くの人が共感しました。

軍事政権では長期に渡り、アウン・サン・スー・チー女史を軟禁し、言論統制があった時期には名前を呼ぶ事さえ出来ませんでした。

皆さんは「あのオバサン(ザ・レイディ)」と呼んだのです。

アウン・サン・スー・チー女史の自宅は国道の傍にあり大変大きな邸宅です。

投 資

☆ セーシェル諸島

セーシェル諸島でのカジノ運営会社の売却可能

世界のお金持ちの保養地でのカジノが初めてある会社に認可されました。

この運営会社を10億円以下で購入することが可能です。

詳しくは組合までお聞きあわせください。

☆ 車の輸出

相手先：ミャンマー政府関係者

中古の路線バス、マイクロバスの輸出

3月末でトラックバスを利用することが禁止になりましたので需要がたくさん出てきました。

☆ 投資

ベトナムホーチミンの日本語学校に対する投資

既に諸許可、用地は確保されています。

☆ ミャンマーの関するお問い合わせ

実習生募集、投資、その他

送出し機関紹介、投資案件はミャンマー側を紹介することが出来ます。

何なりとお申し付けください。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先：info@ibia.or.jp